

下鎌田小学校応援団実践報告書

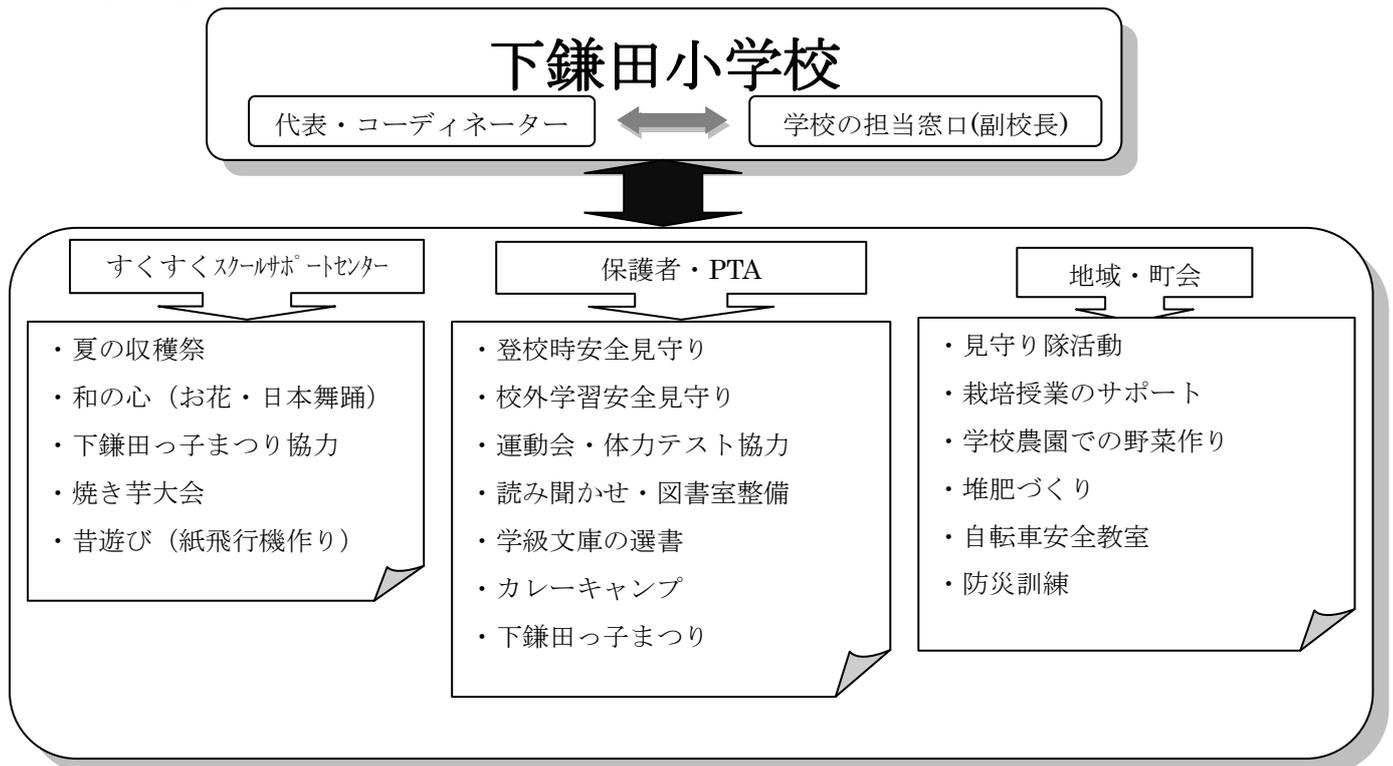
1 校長及び代表氏名

下鎌田小学校長 松岡 立子
代表 宇佐美 慎一

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 マラソン大会	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援 ○マラソンコースの安全確保
学習活動 環境教育 食育	昔遊びお手本 調理実習支援 植物栽培支援 味噌づくり支援	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○植物栽培の指導や体験の支援 ○味噌づくりのゲストティーチャー
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題（3つの活動団体より）

① 子供に本読ませ隊

積み重ねの成果で、子供たちにも図書室利用の決まりが徹底してきている。図書室が常に整理されているので、読みたい本や資料が探しやすくなっている。

課題は特にはないが、今までやってきたことを地道に続けていきたい。

② チームパパ

カレーキャンプ及び下鎌田っ子まつり等において、チームパパとしてまき割りやかまど番、射的等、お父さんだからこそできることを、活動内容として行うことができた。

課題として、チームパパのメンバー確保をどのようにして行うか。名前を登録することについて、その後の活動に対する強制を感じる人もおり、メンバー登録の人数が増えない現状がある。行事の都度、参加できる人を集うのも一つだが、それでは、チームパパとしての体を失ってしまう。

③ 安全な土作り隊

平成18年度から継続してきた活動のまとめとして、農学博士 木嶋利男氏を招いて「食育 環境」をテーマにした講演会をPTAと共同開催し、安全な土作り隊の活動を保護者や地域の方々に広く紹介する場を得ることができ、反響も大きかった。

年度初めに学年の先生方と打ち合わせた内容を基にして、栽培計画を作成することによって、昨年よりもスムーズに授業のお手伝いをすることができた。

先生方、チームパパとの共同作業日をそれぞれ年2回設けることができた。

1年間の活動に必要なデータをまとめ、誰もが使いやすいように整備した。

課題として、今年度、PTAとの連携で学年委員から連絡網を使って各学年に栽培授業のお手伝いを募り協力していただくことができたので、PTAと連携して活動していくシステム作りをしていくこと及び継続可能な活動にするために、活動内容を再度検討し、無理なところがないように見直すこと。

5 代表より

今年度は、盆踊りや秋の大祭、焼き芋大会などでも子供たちの喜ぶ顔や元気に参加する姿がたくさん見られた一年でした。安全な土作り隊や、子供に本読ませ隊の年間を通した継続的な活動による教育活動への支援、また、チームパパによる運動会、体力テスト、サマーキャンプ、下鎌田っ子まつり等、行事での機動力発揮など、PTAや町会、学校応援団の活動が活発に行われた結果です。さらに皆さんの力を結集して、来年度につなげていきたいと考えています。

6 学校長より

活動のあるべき姿として、「みんなが楽しい。だから自分も楽しい。」と寄せたことがあります。下鎌田に住む人々の昔から培われてきた郷土を愛する心や人々の間から湧き上がる助け合い、その中で盆踊りや青少年健全育成、町会の防災訓練、いも煮会など、行事があると学校に集い、町の結束を高めてきました。地域と一体になり、地域を愛する子供たちを育てる学校でありたい。この目標に向かって、子供たちとともに学校応援団の方々の多大なるご支援をいただけたことをうれしく思います。

今後とも、子らの力となり、力を合わせて「共育・協育・今日育・響育」を進めてまいりましょう。